



小国中だより

小国町立小国中学校
令和2年10月7日
文責 八木幸夫

貴重なご意見をいただきました

10月5日(月)PTA三役・部会長会を行いました。今年度は新型コロナウイルス対応の一環として、学校運営について報告し意見交換を行うばとしてPTA運営委員会や評議員会に加えて三役・部会長会を実施しております。この度の会議では、9月中の学校行事運営の反省や今後の学校運営の見通し、PTA活動の計画などについてご意見をいただきました。

小国中学校PTA三役・部会長会

【期日】 10月5日(月)

【参加者】 青木伸幸さん(会長) 舟山洋平さん(副会長)
今 順二さん(3年部会長) 五十嵐朋宏さん(2年部会長)
伊藤友和さん(1年部会長)

学校運営計画を見直し、学校行事の中止や簡略化、各種会議、研修の精選を進め、できる限り授業時間の確保に努めてきました。まだ例年と比較して若干の遅れはあるものの、ほぼ例年通りの授業進度に追いついてきました。2学期は授業日を1日増やし対応します。その他、オープンスクール、新人戦壮行式の持ち方の反省や、今後の行事運営について貴重なご意見をいただきました。

合唱コンクールは人数を限定して参観をお願いする予定ですが、「オンラインによるライブ配信はできないか検討して欲しい。」との意見が出され、現在検討中です。ネットワークの接続の関係や必要機材の関係で多くの課題があり、難しいようです。

社会全体では徐々に規制が緩やかになり、徐々に活気づいてきている状況ですが、人の移動の活発化に伴う感染リスクも高まっています。また、寒さを迎える時期になりインフルエンザとの同時流行なども危惧されている状況です。今月末には校医の先生や学校薬剤師の先生をお招きして学校保健員会を開催し、本校の対応について報告し、ご指導をいただきながら感染予防に努めていく旨を説明し、ご理解をいただきました。

部活動の適正化については、「平成3年3月をもって男子バレー部の活動を停止し、それ以降新入部員の募集を行わない。」という判断が学校運営協議会で了承されたことを報告し、保護者に通知することを確認しました。

PTA活動については計画に沿って活動を進めることを基本に、予算執行について見直しの必要があることが確認されました。また、通信アプリを活用したオンライン学級懇談会について実施を検討することが確認されました。

【報告・協議】

- 1 学校生活の近況
- 2 当面の学校運営について
 - 10月、11月、12月の月予定について
 - 文化祭の持ち方について
 - 2学期3者面談について
- 3 部活動の運営、適正化について
- 4 部の設置について
- 5 PTA活動の見通し

自己ベストを目指して

10月10日 山形県中学新人陸上競技大会

西置賜地区代表 【敬称省略】

男子走幅跳 今 龍汰朗 2年女子100m・女子200m 佐藤 有 五十嵐琉星
女子走幅跳 岡 結生 伊藤杏樹 女子走高跳 舟山琴音 女子砲丸投 穴沢咲良
女子4×100mR 五十嵐琉星 佐藤 有 岡 結生 佐藤ミリア 伊藤杏樹 佐竹 惺

10月10日(火)、NDソフトスタジアムを会場に山形県新人陸上競技大会が行われます。過日の置賜新人陸上競技大会で西置賜地区代表権を獲得した9名の陸上競技部員が大会に参加します。

陸上競技は、順位を競う競技ですが、常に自己ベストを目指す競技です。自分自身の競技力を高め、コンディショニングを含めて、不安や悩みにといった自分の内にある敵と戦う競技です。自己ベストを出すための努力を怠らず、平常心で、自分自身に打ち勝って自己ベストを目指して欲しいと思います。陸上部員は一人ひとり取り組む種目も違えば、今持っている力も違います。その今持っている力を100%発揮すること、発揮できるように努力することを何より大切にして欲しいと思うからです。その挑戦や努力ができれば、結果として優勝や入賞といった成績が残せなくても、その選手には大きな心の成長が残ります。次の目標に向けての決意と意欲が残ります。小国中生には、結果を残せる選手よりもまず、自分の力を伸ばす努力を怠らない、芯の強い選手であって欲しいと願っています。

保護者の皆さんの日々のご支援、先生方、コーチの努力に感謝しつつ、一人ひとりの自己ベストへの挑戦と努力を応援します



教育実習生による研究授業

教育実習生・本間聡史先生による2年生女子の保健体育の研究授業が行われました。

授業を見て1番印象に残ったのは、生徒の表情です。はじけるような笑顔、ちょっぴり悔しそうなかめ顔、「どうだっ」と言わんばかりのどや顔、スキルテストに挑戦しようかどうか迷っている顔……。授業に懸命に取り組むからこそ見える1人ひとりの表情がまぶしく、そしてとても素敵に見えました。

次に印象に残ったのは、かけ声です。「大丈夫、大丈夫!」「惜しいよ」「すご〜い!」、お互いを励まし合うかけ声がそちらこちらから聞こえてきたことです。失敗しても、失敗を気にせず楽しく前向きに取り組める集団であることがわかりました。失敗を恐れず、安心してプレーに取り組める雰囲気は大切です。素晴らしいと思いました。やっぱりうちの子どもらはめんごいよ。

本間先生は最初とても緊張していたようですが、生徒の皆さんの一生懸命な雰囲気徐々に緊張も解け、良い研究授業になったと思います。